

当病院は「内視鏡的止血術を要した消化性潰瘍患者の再出血・予後因子を検討する後ろ向き研究」を行なっています

この研究に関する科学的・倫理的妥当性については、当院の「臨床研究審査委員会」で審議され、その実施について病院長より許可を得ています。この研究の実施期間は、2023年11月9日から2023年12月31日までを予定しています。

【研究の意義・目的】

この研究は内視鏡的止血術を要した消化性潰瘍患者の再出血・予後因子を検討し、入院管理上の留意点を抽出することを目的としています。これにより、消化性潰瘍の安全な治療管理に貢献できる可能性が期待されます。

【研究の対象】

小倉記念病院において2011年1月1日から2023年9月30日の間に、内視鏡的止血術を施行した患者を対象としています。

【研究の方法および情報の取扱い】

ご提供いただく情報は、診断名、年齢、内服歴、既往歴、バイタルサイン、採血結果、上部消化管内視鏡結果、です。通常の診療の範囲内で得られた情報を研究対象としますので、患者さんに日常診療以外の身体的及び経済的負担が生じることはありません。

得られた情報は、個人情報漏えいを防ぐため、お名前、住所などの個人を特定する情報を削除した上で研究用の番号で管理し、小倉記念病院病院長の責任の下、保管・管理されます。また、本研究の結果について学会発表や論文掲載等を行う際は、個人が特定できる情報が含まれないようにした上で、公表します。

【利益相反について】

この研究は特定の研究者や企業の利益の為に行うものではありません。また、この研究により患者さんの利益（効果や安全性など）が損なわれることもありません。

【連絡・問い合わせ先】

この研究や個人情報の取扱いに関するご質問やご相談等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。またご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

なお、対象となる患者さんの情報がこの研究に用いられることについて、患者さん（もしくは患者さんの代理人）にご了承いただけない場合には、研究対象としないのでお申し出ください。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

小倉記念病院 消化器内科 担当者 白井保之
〒802-8555 北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号
電話 093-511-2000 (代)